



1. 採血(採尿)する日と注意事項
2. 採血・採尿について
3. <Q&A>採血前の食事・薬などについて
4. <Q&A>採血のこと
5. 採血に伴う合併症について

#### ご案内

この記事で取り扱っている内容は、Webでも紹介しています。  
右記QRコードよりアクセスしてご覧ください。

# 1. 採血(採尿)する日と注意事項

## 🔍 医師から診察日当日を指示された場合

診察予約時間の90分前から採血開始になります。  
それまでに、採血・採尿(2号館2階)の受付を済ませて  
採血(採尿)を行ってください。  
診察前採血の検査結果は1時間程度で診察室に報告します。

## 🔍 医師から診察日より前の日までにと指示された場合

次回診察予約日より前の日に採血・採尿を行ってください。  
来院日は担当医とご相談ください。

## 🔍 注意事項

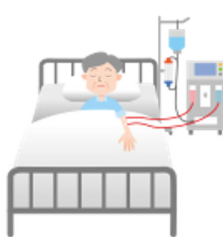
●下記に該当する方はスタッフにお申し出ください●



採血時にご気分が悪く  
なられたことがある方



消毒用アルコールに  
アレルギーのある方



血液透析中の方



乳房切除手術を  
受けられた方



血液をさらさらにするお薬(抗凝  
固薬、抗血小板薬)を服用中の方



止血時のテープでかぶれる方

1

# 2. 採血・採尿について

## 🔍 採血(採尿)受付時間

- ・採血・採尿 受付時間 7:45~17:00
- ・採血実施時間 8:00~17:00

診察予約時間	採血開始時間
8:40	8:00
9:00	8:00
9:30	8:00
10:00	8:30
10:30	9:00
11:00	9:30
11:30	10:00
12:00	10:30
12:30以降	11:00
診察後に採血指示が出た場合	随時
採血する当日に診察がない場合	随時

採血は、**診察予約時間90分前**  
より実施致します。

診察のない日または採血・採尿  
のみ、あるいは他の検査のみで  
いらした方は、採血・採尿受付  
機で受付後 準備ができ次第  
順次採血いたします。

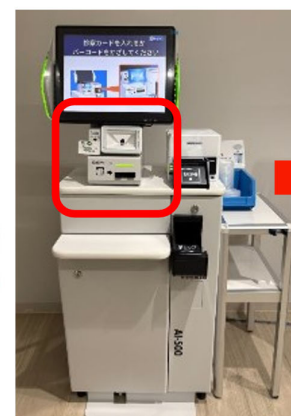
## 🔍 採血・採尿受付(2号館2階)

来院受付票に下記の表示がある方は、採血・採尿受付機で受付してください。

従来の受付方法に加えて、**LINE QRコード**も受付できます。



受付票



- ・診察券
  - ・バーコード
  - ・LINE QRコード
- すべて 受付可能



2

## 採血・採尿コップの発行

採血・採尿受付機で受付完了すると

採血のみ → ①採血整理券

採尿のみ → ①採尿あり記載の整理券と

②採尿コップ

採血・採尿 → ①採血整理券と ②採尿コップ



## 採血

採血整理券の番号順にお呼びします

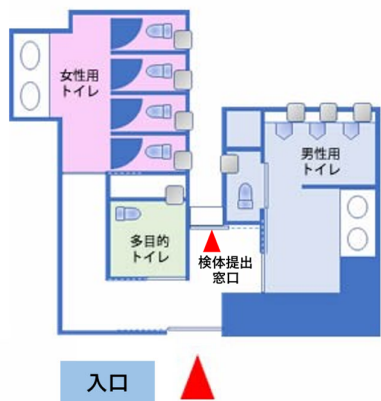
お呼びした番号の席にお座り頂き、採血者に  
**採血整理券**と**来院受付票(診療スケジュール票)**を  
渡して**氏名・生年月日・診療科**をお伝えください。



## 採尿

『採尿室入口』より採尿用トイレへお入り下さい

※コップは各個室及び小便器前に設置している  
**尿検体管理システム(コップ回収機)**へ置いて下さい。



※コップ以外のは置かないで下さい。  
※コップには名前のついたラベルが貼られています。尿量が少なくても捨てずに声をかけ下さい。  
※自宅採尿・蓄尿・便・喀痰などの検体は検体提出窓口へお出しください。

## 3. <Q&A> 採血前の食事・薬などについて

Q1. 採血前に食事を控えた方がいいですか？



<A>

早朝・空腹時・安静時に採血することが理想とされていますが、食事を摂取していても多くの検査項目では大きな影響はありません。食事を摂取していた場合、最後に摂取した時間を医師へお伝えください。基本的に、医師の指示に従ってください。

Q2. 食事摂取の時間制限がある項目は何ですか？



<A>

代表的な項目は「血糖値 (GLU)」と「中性脂肪(TG)」です。血糖値は食後すぐに上昇し、中性脂肪は食後4-6時間後にピークとなります。食事摂取については、医師の指示に従ってください。

Q3. 採血前は飲水も控えた方がいいですか？



<A>

飲水は脂肪分・糖分を含んでいないもの(水、日本茶、麦茶、ブラックコーヒーなど)は摂取可能です。脂肪分・糖分を含んでいるもの(牛乳・ジュース・清涼飲料水・加糖コーヒーなど)は控えてください。

Q4. 食事をしていないので食後薬は飲まずに採血をしていいですか？



<A>

疾患によって服用が必要な薬(糖尿病薬、抗血栓薬など)があるため、医師から指示が出ている場合、その指示に従ってください。

## 4. <Q&A>採血のこと

Q1. 採血後になぜ採血した箇所を押さえるのですか？



<A>

穿刺部位(採血針の通った穴)から出血してしまうからです。押さえることでその部分の血が固まって穴を塞ぎます。血が固まるまで押さえなかったり、十分に固まる前に重いものを持つと、血液が外に漏れてきたり、皮膚の内側に漏れて青くなる(内出血)ことがあります。そのため、採血後5分以上は、採血部位をしっかり押さえて圧迫止血をおこなってください。

Q2. 採血後、青くあざになってしまいました。大丈夫ですか？



<A>

青あざは、針を刺した血管から血液が皮下へ漏れたことによって内出血が起こった状態です。採血が終わった後に十分に押さえて止血をしないと、血液が漏れて青あざになります。ただし、青あざができてても一般的に~2週間程度で消えます。

Q3. 採血した日にお風呂に入ってもいいですか？



<A>

お風呂に入って大丈夫です。血液がしっかり止まっていれば、入浴しても問題はありません。

Q4. 採血量は全部でどのくらい？こんなに採血して血が無くならないの？



<A>

採血管1本に対して約2~4cc採取しています。体中の血液量は、体重の約1/13といわれています。体重60kgの人であれば、4.6リットルの血液があります。一般的に、循環血液量の1/3以上、約2リットルの血液が失われた場合に生命が危険にさらされるといわれています。

Q5. 複数科の採血がある場合はどうすればいいですか？



<A>

来院受付票に、本日採血・採尿がある診療科が表記されます。複数の科がある場合は、一緒に採血しています。もし、表記がない診療科がありましたら、受付へお申し出ください。

Q6. 採血は診察のどのくらい前までに済ませておけばいいですか？



<A>

結果報告までに1時間かかります。診察予約時間60分前までに採血を済ませてください。採血開始は、診察予約時間90分前より採血を実施致します。

ただし、混雑状況によっては、お待たせすることがあります。ご了承ください。

Q7. 診察当日、採血できない場合は何日前までに採血しておけばいいですか？採血予約日の変更はできますか？



<A>

概ね、1週間前から前日までには採血を済ませてください。検査項目によっても異なりますので、医師と相談後、採血予約日を決定してください。

採血予約日の変更については、外来採血室受付に直接お申し出ください。

## 5. 採血に伴う合併症について

「採血」は、基本的には安全な手技であり、合併症の頻度は極めて少なく、また軽症なものが多いとされております。しかしごくまれに、次のような健康被害を生じるとの報告があります。

### アレルギー



採血後のアルコール消毒や、止血テープなどでかゆみ、発疹といったアレルギー症状がでることがあります。  
※アレルギーをお持ちの方はお申し出ください。代替りのものをご用意いたします。

### 止血困難・内出血



採血後の不十分な止血操作が原因となることがあります。  
採血後は、採血部位を揉まずに圧迫止血してください。  
※ご自身で止血困難な方はお申し出ください。  
※血液をさらさらにするお薬を服用中の方は、血液が止まりにくい  
ため15分以上の圧迫止血をお願いします。

### 神経損傷

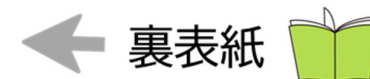


約1万～10万回に1回の割合で、神経を損傷することがあります。  
採血行為には、最大限の注意を払っておりますが、皮膚表面近くの神経は個人差が大きい  
ため神経損傷を00%防止することはできません。  
しかし、通常の採血では太い神経の断裂などの可能性は低く、損傷は軽度で  
症状は軽く一時的な場合がほとんどです。  
採血後も手指へ広がる痛み・しびれなどが持続する症状がありましたら、お申し出  
ください。※採血は、針を刺すため痛みを伴います。

### 血管迷走神経反応



採血により一時的に血圧が低下し、めまい、気分不快、意識消失などを引きおこす  
ことがあります。採血に対し、緊張や不安が強いおこりやすいとされていま  
す。  
※採血中に気分が悪くなられた場合は、すぐにお申し出ください。  
※ベッドでの採血を希望される方はお申し出ください。



裏表紙